

ももちゃん元気ニュース

RSウイルス感染症について

どんな病気??

RSウイルスによる呼吸器感染症です。主に鼻・のどが感染を起こす病気で重症化すると気管支炎・肺炎になる事もあります。2歳までにほぼ100%の子どものかかります。抗体が出来ないので一度かかっても再感染しますが、2歳以上では鼻風邪程度で済む事が多いです。咳やくしゃみ等による飛沫感染や、鼻水・痰等による接触感染にてうつります。

症状は??

感染後4~5日潜伏し、鼻水、咳、発熱症状(38~39℃)が現れます。3割程度の人に咳が増えたり喘鳴(ぜいぜいする)症状が現れてきます。通常は数日~1週間で軽快します。生後6ヶ月以内の乳児や未熟児、呼吸器・循環器系の病気をもつ幼児では重症化しやすいので注意が必要です。

治療は??

RSウイルスには抗生剤は効かないため、治療薬はありませんが、発熱・鼻水・咳などの症状にあわせた治療を行います。二次感染の恐れがある時は抗生剤を使うこともあります。



二次感染とは、別の病原菌にも感染してしまう事だよ。

予防

RSウイルスにはワクチンが無いため、予防対策が大切です。うがい手洗い、マスクの着用が有効です。RSウイルスは消毒薬に弱いので

- ・次亜塩素酸ナトリウム(ミルトンなど)
- ・消毒用アルコール
- ・ポピドンヨード(イソジン・ネグミンなど)などが有効です。

赤ちゃんがいる家庭では、おもちゃの消毒もこまめに行いましょう。